

2025年10月15日
商 工 中 金

**アルミニウム製品を製造する加藤軽金属工業株式会社に対し、
ポジティブ・インパクト・ファイナンスを適用した
総額 14 億円のシンジケートローンを組成**

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（名古屋支店）は、加藤軽金属工業株式会社（本社：愛知県海部郡、代表者：加藤 博 稔）に対し、総額 14 億円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金がアレンジャーを務め、りそな銀行、大垣共立銀行、北陸銀行、十六銀行などが参加し、地域金融機関等との協調により、その組成が実現したものです。なお、本融資には、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、建材や電子機器などに使用されるアルミニウム部品の製造を手掛けています。短納期、多品種少ロットでの対応を強みに、顧客の多様なニーズに柔軟に対応しています。

今回同社は、本シンジケートローンにより調達する資金を活用して、長短借入金のバランスを是正することにより、営業キャッシュフローと財務キャッシュフローのミスマッチを解消するとともに、将来の積極的な事業展開に向けて、一層の経営基盤の強化に取り組みます。

また、ダイバーシティ経営の推進や再生可能エネルギーの利用促進等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。既存債務のリストラクチャリングとあわせ、同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組 成 金 額	14 億円 ～タームローン コミットメントライン	5 億円 9 億円
アレンジャー兼エージェント	商工中金	5 億 4,500 万円
参 加 金 融 機 関	りそな銀行、大垣共立銀行、北陸銀行、十六銀行、他	合計 8 億 5,500 万円
契 約 締 結 日	2025 年 9 月 18 日	

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【加藤軽金属工業株式会社の概要】

所在地	愛知県海部郡蟹江町西之森三丁目 47 番地
代表者	加藤 博穂
業種	アルミニウム押出型材製造業
資本金	6,050 万円
従業員数	95 名 (2025 年 3 月時点)
設立	1961 年 4 月



【同社工場】

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

